

議決のあらまし

市政の羅針盤となる
岡山市第六次総合計画 前期中期計画を策定！

平成29年2月定例市議会に市長が提案した議案は追加上程を含め73件（予算案32件、条例案27件、その他14件）で、議員が提案した議案は1件（岡山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定）でした。そのうち、平成29年度岡山市一般会計予算、平成28年度岡山市一般会計補正予算（第5号）など10件の議案については、一部の議員から反対がありましたが、すべての議案を原案可決・同意しました。これにより、平成29年度当初予算額は、一般会計3,143億8,569万円余、特別会計1,928億6,536万円余、事業会計735億2,357万円余を合わせた5,807億7,462万円余となりました。

●● 可決した主な議案 ●●

議決結果は市議会ホームページに掲載しています。

■平成29年度岡山市一般会計予算（対前年度比10.6%の増）

主な事業	予算	内容
県費教職員の給与負担等の移譲	324億1,400万円	教職員の給与等の負担、定数、配置等に係る権限を県から移譲し、平成29年度から包括的な制度運営を実施する
下水道未普及対策推進事業	50億4,700万円	汚水処理施設を利用できない未普及地区の早期解消に向け、アクションプランに基づき、計画的に下水道整備を進める
市有施設等の耐震化の推進	50億4,100万円	市有建築物の耐震化計画指針を踏まえ、施設の耐震改修を推進する
放課後児童健全育成事業	15億4,900万円	保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図る
魅力ある中心市街地の創出	12億8,800万円	市街地再開発事業の促進、自転車先進都市の推進、岡山城の魅力アップ、旭川かわまちづくり事業など
最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進	12億2,100万円	教育・保育提供区域ごとに、公としての役割を担う施設（セーフティネット等）を定め、市立幼保連携型認定こども園を整備する
介護予防・日常生活支援総合事業	11億2,400万円	要支援者等の生活支援のため、市町村が地域の実情に応じて独自に取り組むことができる、介護保険制度の地域支援事業に移行された訪問・通所等の介護サービスを実施する
浸水対策事業	10億1,400万円	岡山市浸水対策の推進に関する条例に基づき、市民や事業者と連携した浸水対策や、即効性のある局所的な浸水対策に取り組む

予
算

■岡山市浸水対策の推進に関する条例の制定

浸水被害の予防及び軽減を目的とした施策を総合的かつ計画的に推進し、市民が安全で安心して暮らすことのできる社会を実現する。

条
例

■岡山市の組織及びその任務に関する条例の一部を改正する条例の制定

経済局を産業観光局に改めるなど、効率的、効果的な業務執行体制を整備する。

そ
の
他

■岡山市第六次総合計画 前期中期計画

長期構想に掲げる将来都市像の実現に向けた政策・施策の体系を示す「分野別計画」と、各区における特徴的な課題に対応し、特性を生かしたまちづくりを進めるための方向性を示す「区別計画」で構成され、平成32年度までの5年間を対象に、長期構想の実現に向けた具体的な施策展開の方向性を示す。

1月臨時市議会

平成29年1月13日に開会し、市長から専決処分の報告を受けた後、「人事委員会委員の選任同意について」の議案を審議し、全会一致で同意して閉会しました。

常任委員会審査から

審査等の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

全文は市議会ホームページに掲載しています。

総務委員会

■旧後楽館天神校舎跡地

売却に至った意思決定の過程

委員 ● どういう手順で跡地の売却を決めたのか。

市 ● 教育委員会など関係局の担当者で活用について協議を行い、市長に提案し、了解を得た。

－複数の委員から、大事な土地なので跡地の活用について市民や議会の意見を聞くべきだった。意思決定のスキームが曖昧なので、スピーディかつ市民にわかりやすい仕組みを考えるべきではないか、などの厳しい意見があった－

保健福祉委員会

■生活保護の適正化

委員 ● 一番必要なのはケースワーカーの増員ではないか。

市 ● 平成29年度から社会福祉職の採用を始めるほか、現場できめ細かい対応ができるように体制を整えていく。

■民間保育士等の処遇改善事業
－私立保育園・認定こども園等に勤務する保育士等の給与の約2パーセントを上乗せ補助し、処遇を改善することで、人材確保を図る－

委員 ● 保育士不足の解消には、この事業だけでは不十分だ。

市 ● 処遇改善に役立つものなど、保育士確保に必要な施策については今後も取り組んでいく。

環境消防水道委員会

■女性消防団員の活動を促進

委員 ● 女性団員数の目標値は。

市 ● 本市では、100分団4,620人のうち、女性団員は43分団に120人が所属している。国の指針は定員数の10パーセントだが、現在2.5パーセントであるため、当面5パーセントを目標として増員に取り組みたい。

■消防団員による戸別訪問

委員 ● 火災警報器の設置・普及を推進するための平成29年度の取り組みは。

市 ● 留守宅が多く面会できない課題がある。留守宅には直接調査はがきを投函して回答をお願いし、再訪問や電話確認をする。また、設置率の低い町内会は火災警報器に特化した出前講座も考えている。

経済委員会

■岡山コンベンションセンターの管理運営

委員 ● コンベンション施設など公の施設の運営は10年先まで見越す必要がある。現在の指定管理者は、本市が出資し経営も順調な企業であるので、指定管理期間を5年から10年にすることも検討すべきでは。

市 ● 今後5年間の経営状況やコンベンション誘致状況を考慮しながら、検討していきたい。

■業務に見合った報酬の見直し
委員 ● 農業水利土木員の活動は多岐に渡り、苦勞も多い。他都市の状況も踏まえ、作業に見合った報酬額を考えては。

市 ● 業務の大変さは重々承知している。平成30年度の改選期に合わせ、見直しを検討する。

建設委員会

■道路の要望などに対し

丁寧な説明を心がける

委員 ● 事業費を大幅に増やすことができない中で、さまざまな要望に対応することが難しいのは分かっているが、市民や町内会長などから、要望しているのに進展がない、どうなったのか分からない、といったことを言われている。できるものできないものを分けるなど、見える化による改善が検討できないか。

市 ● 事業実施の可否や施工の予定時期は、速やかに回答するよう心掛けているが、十分に対応しきれていない場合もあったと思っている。今後は、できる限り速やかに、対応方針などを丁寧に説明していきたい。

市民文教委員会

■学校教育施設等整備基金の使い方を検討

－学校給食の民間委託により削減した経費を、学校教育施設の整備、充実のための財源として還元する目的で設立した基金－
委員 ● 民間委託を受け入れた学校に基金が多めに配分される流れと聞いている。学校によって施設の整備状況に差が生まれるのではないかと危惧している。

市 ● 緊急を要する場合を除き、民間委託を受け入れた学校の修繕等の順番が早まることはある。

委員 ● 全体を見渡し、必要などころに基金を使用するべきでは。
市 ● 委員会での意見を踏まえて検討していきたい。

委員会行政視察レポート

各委員会は担当する課題について、さまざまな調査・研究を行い、市政に反映させていきます

多様性のある社会実現調査特別委員会

那覇市では「性の多様性を尊重する都市・なは宣言」をはじめとする取り組みと、その中心として活動する「なは女性センター」を視察し、琉球大学では、法律の専門家として那覇市と協定を締結し、法的アドバイスを行っている状況を調査しました。また、性の多様性に詳しい琉球朝日放送の記者や、LGBT、性同一性障害等の当事者などに経験談や意見を聞くなど、性の多様性尊重のための調査を集中的に行いました。



那覇市役所



長岡市役所

岡山市へ人を呼び込む魅力調査特別委員会

長岡市では、若者自らが長岡市で暮らしたくなる、働きたくなる取り組みを議論する場として設立された「ながおか・若者・しごと機構」と移住・定住支援について調査し、岡山芸術交流と同時期に初めて国際芸術祭を開催しているさいたま市では、さいたまトリエンナーレ2016を視察しました。

また、ムスリム観光客の誘致等を推進している千葉市では、海外集客プロモーションについて調査しました。

防災対応力調査特別委員会

平成28年4月の地震により甚大な被害を受けた熊本市では、被害や避難の状況、今後の復興計画について調査した後、熊本城の損傷状況等を視察しました。

佐賀市では、内水氾濫による浸水被害軽減の目的で策定された「佐賀市排水対策基本計画」を調査するとともに佐賀市水防センターを視察し、広島市では、26年8月に発生した豪雨災害の実態と対策について調査しました。



佐賀市水防センター



神戸市役所

議会運営委員会

神戸市では、※1 2会期制導入の経緯や定例会の運営状況等について、横浜市では、個性ある区づくり推進費に関して協議する区づくり推進横浜市議会議員会議の開催状況等について、京都市では、議会機能の充実・強化と、開かれた議会のより一層の推進を目的として開催している市会改革推進委員会について調査しました。さらに3市とも、予算・決算の審査方法について調査しました。



【1月】

- 27日 多様性のある社会実現調査特別委員会
- 30日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会

【2月】

- 7日 経済委員会
- 13日 議会活動に関する検討会議

- 15日 岡山市へ人を呼び込む魅力調査、防災対応力調査特別委員会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会及び同協議会
- 21日 2月定例市議会開会
- 28日～3月2日 5会派による代表質問

【3月】

- 2日～8日 27人の議員による個人質問

- 2日 議会運営委員会

- 10日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会
- 13日 総務、保健福祉、市民文教委員会
- 14日 総務、保健福祉委員会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 2月定例市議会閉会
- 27日 多様性のある社会実現調査特別委員会

【4月】

- 12日 議会運営委員会

◆用語解説 ※1 【2会期制】

議会が会議を行う期間を会期といい、神戸市会では年2回の会期を設け、おおむね2月中旬から6月下旬に第1回定例市会、9月中旬から12月上旬に第2回定例市会を開催している。なお、岡山市議会では、条例で定例会の開催を年4回と定めている